

2018年8月2日

## 「平成30年7月豪雨」被災地復興支援商品 「獺祭 島耕作」 販売のお知らせ

平成30年7月豪雨は、西日本を中心に大きな被害をもたらしました。「モーニング」誌上で『会長 島耕作』を連載中の漫画家・弘兼憲史氏の故郷・山口県岩国市でも、土砂災害による死者が出るなど、甚大な被害が広がりました。

同市で「獺祭」ブランドの日本酒を製造する旭酒造では、前を流れる川が溢れて酒蔵の1階に70cm程度浸水し、送電線の破断により3日間の停電が発生しました。この停電の影響により、150本の発酵タンク（50万リットル強、四合瓶換算で70万本）の温度がコントロール不能となり、通常の「獺祭」として出荷できなくなった、ということが報じられています。

このたび旭酒造より、通常のブランドで出せなくなった純米大吟醸酒を「獺祭 島耕作」として、販売いたします。故郷の被害に心を痛めていた弘兼氏が、以前より旭酒造との親密な付き合いがあったことから実現した、被災者支援商品です。

「獺祭 島耕作」については、販売価格4合瓶（720ml）1200円（税別）のうち、200円が西日本豪雨で被害を受けた地域への義援金として寄付されます。

### 〈商品概要〉

商品名 「獺祭 島耕作」 純米大吟醸  
容 量 720ml  
価 格 1200円（税別）  
発売日 8月10日（金）より  
発売先 旭酒造 Web店、直営店及び  
獺祭取り扱いの全国の酒販店

### 【旭酒造のコメント】

当時発酵中だったお酒は、十分美味しいのですが、ただ、私たちの思う獺祭としての品質基準には届かず、通常の獺祭としては世に出せない、と判断しました。会社として、発酵中のお酒を通常の商品として出せないということは、大変厳しい事態です。

しかし、私たちにできることは、前を向いて進んでいくこと、一刻も早い復旧につながることであり、また、今発酵中のお酒は、西日本豪雨への被害を心配して頂いている皆様の思いに応え、被害を受けた様々な地域のお役に立てる、ポジティブな形で、世に送り出していきたいと考えました。

私たちのそんな思いに、漫画家の弘兼憲史氏が共感し、様々な困難に直面しながらも前向きに乗り越えてきた漫画キャラクター・島耕作を商品ラベルに使用した、「獺祭 島耕作」という商品名で販売することとなりました。

